

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第5回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成28年12月15日（木）午後6時30分～8時
開 催 場 所	中部地区会館（市役所4階）403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：安島てつや、金子彰子、木下幸子、波多野愛子、福岡祐子 松木愛梨、峰岸喬、山内かよ子、小柳貴子、杉本崇 緑が丘ふれあいセンター長 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	第3回会議録について
議 題	1 男女共同参画啓発事業結果について 2 男女共同参画推進市民委員会の今後の活動について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	1 男女共同参画啓発事業結果について 来年度以降は、市民がブース内を通り抜けられるような展示方法等を検討する。 啓発物品については、汚れが目立たないような濃い配色をするよう検討する。 2 男女共同参画推進市民委員会の今後の活動について 第6回委員会は、ワーク・ライフ・バランスの推進をテーマに、自由討論や意見交換を行う形で開催する。 その他 第6回委員会は、平成29年1月19日（木）午後6時30分から開催する。 第7回委員会は、平成29年2月9日（木）午後6時30分から開催する。 場所についてはそれぞれ事務局から改めて通知する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） ○印：委員長 ○印：委員 ●印：センター長 □印：事務局	報告事項 第3回会議録について -修正等なし- 議題1 男女共同参画啓発事業結果について ○ ブース内が行き止まりになっていて、人の流れが止まってしまったので、通り抜けできると良かったかもしれない。 ○ 啓発物品でエコバッグを配布したのは良かった。来年度はもっと濃い色を検討してはどうか。 ◎ L G B Tを知っている人は少ないだろうと思っていたが、予想以上の知名度で驚いた。 ○ テレビで見たことがあるという人もいた。 ○ 言葉だけでなく説明を受けて分かったという人もいた。 ○ L G B Tに対して否定的な意見を持っている人もいたが、そういった人も含めて広く啓発できたことは良かった。

- LGBT当事者という人がいて、このような取組をしてきて嬉し
という声もあった。
- 身内に当事者がいるという人もいた。悩みを持っていてもどこに相談
していいかわからないという人に、相談窓口を広報することもできた。
ただ、アンケートの二つの質問の内容がかけ離れていたのもう少し
違う構成にしても良かったかもしれない。
- ◎ 血液型などと同じで、わざわざ人に聞く事でもないし、差別するよう
なことでもない認識することができた。
- 若者から年配の方まで、様々な意見や知名度があり面白かった。海外
生活が長いという人からは、男女共同参画を推進するための委員会が存在
すること自体に違和感を持つという意見もあった。
- 身内や知り合いに当事者がいるという人がおり、自分の想像以上に身
近な存在であることに驚いた。
- このアンケートの結果を、今後どのように活動に生かせるか考えなけ
ればいけない。
- LGBTに限らず、この市民委員会を経験して気付いたことや感じた
ことを、家庭や職場等の身近な人に話を広めていくことで、男女共同参
画の推進につながるのではないかと。

議題2 男女共同参画推進市民委員会の今後の活動について

- この市民委員会の趣旨は、市民の視点や意見を取り入れて情報発信等
を行っていくことである。市民委員会が必要と考えることや、関心があ
ることについて、柔軟に活動していけたらと考えている。
- ◎ 過去に、市民委員会とふれあいセンターが連携して事業を実施したこ
とはあるのか。
- 昨年度に市民委員会主催でシンポジウムを開催した際にパネリストと
して参加したが、連携して事業を実施したことはない。
- ふれあいセンターを訪れると、様々な掲示物があり情報が目に入って
くる。市民委員として男女共同参画の理解や知識を深めながら、情報を
発信できる機会があると良いと思う。
- 年齢や性別に関係なく活力がある社会を作るために、私はワーク・ラ
イフ・バランスの推進に関心がある。
- ◎ デエダラまつりでの経験から、人が多く集まる場での啓発に非常に意
義があることが感じられた。
- ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度の構築に携わること
は、一市民として非常に興味深いことである。
- 期限がある中、月1回程度の会議でどこまで出来るか疑問である。
- 制度を一から皆さんに作っていただくわけではない。事務局案を示
し、市民委員会の意見を取り入れながら構築していきたいと考えてい
る。
- 市民委員会の意見だけではなく、広く市民から意見を集められると良
い。そのような場をふれあいセンターの事業として設けられないか。
- 普段通りの会議の場だと、柔軟性のある意見が出にくいのではない
か。
- 以前、男女共同参画計画を作成する会議に参加した際は、自由意見を
どんどん出していくことで、自分たちの手で進めているという意識を強
く持つことができた。
- 次回の委員会では、テーマに対してざっくばらんに討論や意見交換を

	<p>する形で実施してみるか。</p> <p>-異議なし-</p> <p>● 単なる座談会ではなく、今後の活動に意義がある場にしたい。 ◎ 次回はワーク・ライフ・バランスの推進をテーマに、自由討論や意見交換を行うこととする。</p> <p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> 第6回委員会は、平成29年1月19日（木）午後6時30分から開催する。 第7回委員会は、平成29年2月9日（木）午後6時30分から開催する。 場所についてはそれぞれ事務局から改めて通知する。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>: <input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： _____ 0 人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>[_____]</p>
-------------	--

会議録の開示・非開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____)</p>
--------------	--

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)